

シリーズ勉強会『地域の公共交通とまちづくりを考える』

第7回 「地域のことをみんなで考えてみよう」 その1

まちづくりの観点から…  
いなべ地域の公共交通の将来像を  
考えてみよう

話題提供プレゼンテーション

第2次いなべ市総合計画  
第2期基本計画から

令和5年8月

北勢線とまち育みを考える会

## 第2次いなべ市総合計画 第2期基本計画

いなべ市総合計画は、市民といなべ市がめざす10年後の姿や、そのための取り組みを示す「まちづくりの基本」となる計画とされています。現在取り組みが進行中の第2次いなべ市総合計画は、2016年度(平成28年)から2025年度(令和7年度)を対象年度としており、令和3年度より同取り組みの後半の**第2期として2021年度(令和3年)**から**2025年度(令和7年度)**の計画が策定されて、現在取り組みが進められています。

# 根底に流れる基本理念

## まちづくりの基本理念

「基本理念」は、市民と行政が長期的な視点でまちづくりを進めていくうえで共有するまちづくりの基本となる考え方を示しています。

いきいき笑顔応援のまち

## まちづくりの基本理念

「いきいき笑顔」とは、人とまちが健康で生命力にあふれた姿を表しています。

人の健康とは、障がいや疾病があっても、子どもから高齢者まで誰もが生きがいをもって、その人らしく自己現実をめざした暮らしが営めるとともに、それを支える市民の共助による取組や公的な施策が充実し、安心できる環境が整っている状態を表しています。

また、まちの健康とは、自然と共生できるゆとりある空間が創出されるとともに、しっかりととした生活基盤のもとで、地域資源を活かした産業が活発に展開され、市民のみならず、市外の人も住んでみたい、訪れてみたいと思える力強いまちづくりの展開を図るものです。

## まちづくりの将来像

「将来像」は、市民と行政が中期的な視点でまちづくりを進めていくうえで共有するまちのイメージを示したもので、**基本理念をふまえ、10年後にめざす市の姿**を示しています。



## まちづくりの将来像

国が長期ビジョンで50年後の人囗を1億人とする目標を掲げたように、本市においても人口減少をいかに食い止めるかが大きな課題となっています。

従来から取り組んでいる「旧員弁郡定住自立圏共生ビジョン」と、平成27(2015)年度策定の「いなべ市まち・ひと・しごと創生総合戦略計画」に基づいて、**いなべ市民やいなべ市を訪れた人に『いなべ市は本当に“いーな！”』と実感していただけるように、いなべブランド**と言われる**先進的な行政サービス**を創造し、提供し続けることで、人もまちも元気な活力あふれるまちをめざします。

# まちづくりの概念図



まちの将来について、市民からは「高齢者が生きがいを持つて暮らせるまち、まちの将来を担う若者の定着」が求められています。また、次代を担う中学生からは「活気、にぎやかさ、若者にとって魅力的なまち、自然との調和」といった意見が多くあげられており、これらの意見をふまえて基本目標を設定し、各種施策を効果的に推進していきます。

## 共通目標 市民が主役のまちづくり

市民一人ひとりが主役となり、やりがいや生きがいを持ち、地域活性化の活動や課題解決の取組が盛んに行われるまちづくりを進めます。また、お互いを理解し、認め合い、支え合う共生社会をめざします。

### 市民協働……

市民の創意と工夫による魅力的なまちづくりを推進していくため、地域組織や…NPO、ボランティアなどの市民活動を積極的に支援するとともに、活動を担う団体や個人の育成を行います。

## 共通目標 いなべブランドの創造

品質が高く内外から高い評価が得られる事業を創造し、発信することで、市民の満足度の向上や、市内外のいなべ市に対するイメージの向上を図り、いなべ市が「**住みたいまち、住み続けたいまち(信頼と絆)**」「**挑戦する人が集う元気あふれるまち(元気、活力)**」となるようにモノやサービスの品質向上に向けて創意工夫(挑戦)し続けます。

# 都市基盤整備における目標

## 基本目標 快適で豊かな交流を生むまちづくり

市民ニーズの高い電車やバスなどの公共交通の利便性の向上を図るとともに、東海環状自動車道の開通や新庁舎建設をふまえ、周辺地域をはじめ各地域における生活拠点の機能強化などを推進し、利便性に優れた快適なまちづくりをめざします。

## 快適で豊かな交流を生むまちづくり

### 公共交通

公共交通の利便性向上については市民ニーズが最も高くなっていることから、**福祉バス等の交通手段と鉄道の連携強化などによる公共交通の充実を図り、誰もが移動しやすい環境づくりを進めます。**

### 道路

東海環状自動車道の開通を契機とした周辺の環境整備や、**広域圏との連携を強化するための幹線道路の充実とともに、市民の暮らしを支える生活道路の適切な維持管理を行い、快適で安全な道路環境の形成を図ります。**

## 快適で豊かな交流を生むまちづくり

### 上下水道

上下水道事業の健全な経営のもと、清浄で安定した水の供給、公共用水域の水質保全に努め、設備の維持保全や耐震化の推進など効率的な整備を行い、安全で安心な暮らしの実現をめざします。

### 都市計画、土地利用

長期的な視点で、**持続的で健全な都市の発展**をめざします。そのため、都市計画マスターPLANの見直し結果などに基づきながら、自然と共生し地域特性を活かした、快適で豊かな市民生活と活力ある産業の基盤となる、効果的な土地利用の推進を図ります。

# 快適で豊かな交流を生むまちづくり 個別計画

## 公共交通

- 北勢線活性化基本計画
- いなべ市橋梁長寿命化修繕計画
- いなべ市舗装個別施設計画
- いなべ市トンネル長寿命化修繕計画
- 命と暮らしを守る防災・安全対策による安全安心な道づくり（防災・安全）
- 通学路の生活空間における安全安心な道づくり（防災・安全）
- 道路施設の適格な老朽化対策による安全安心な道づくり（防災・安全）
- 地域住民の安全性と利便性の向上を図るための安全な道路空間及び道路ネットワークの整備

## 道路

## 河川

- いなべ市河川維持修繕計画
- いなべ市新水道ビジョン
- 北勢沿岸流域下水道（北部処理区）関連いなべ市公共下水道事業計画
- いなべ市下水道ビジョン

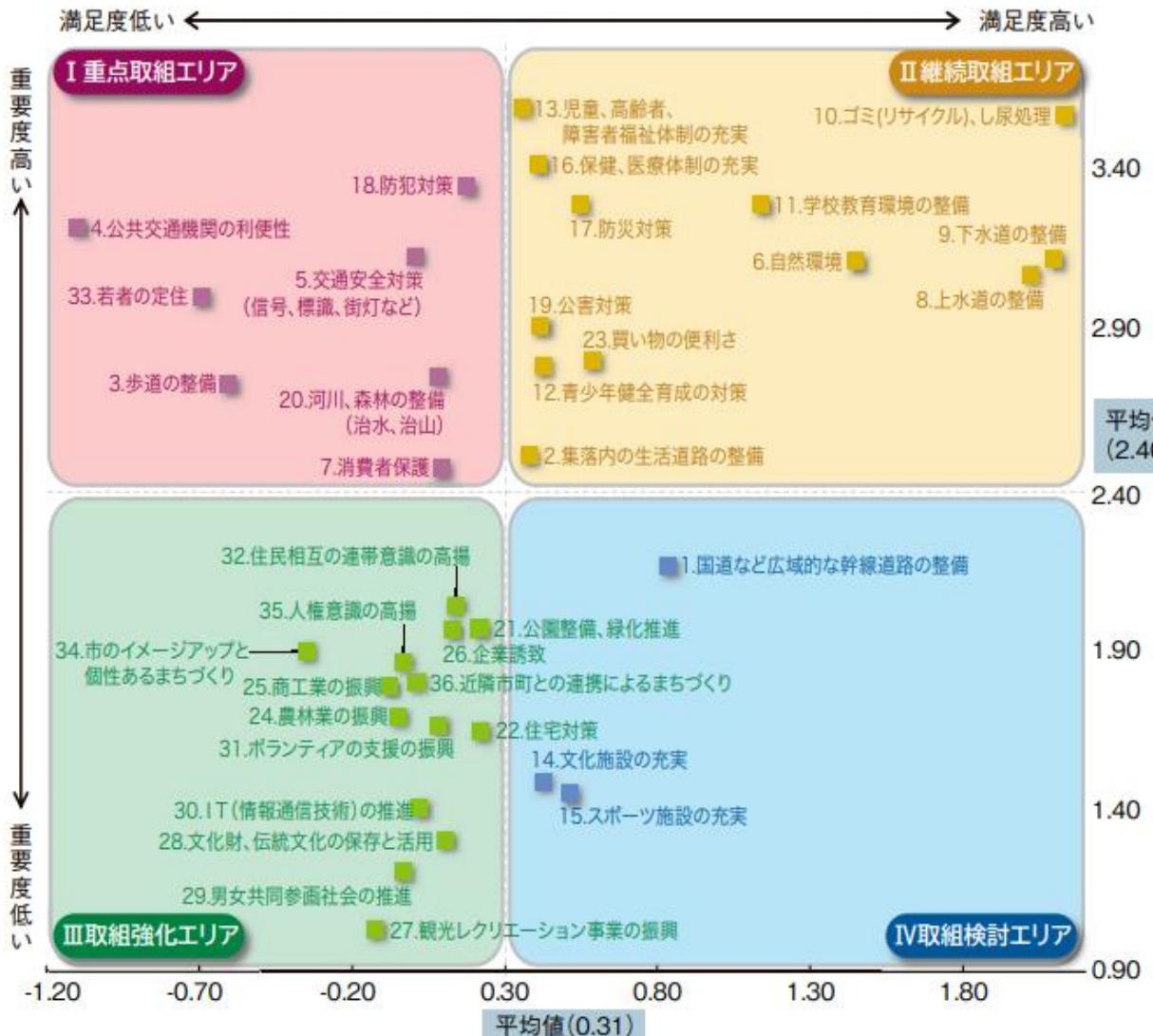
## 上下水道

## 都市計画、 土地利用

- いなべ市都市計画マスターplan
- いなべ市都市計画マスターplan/計画編/資料編

いなべ市のまちづくりにおいて  
満足度が低く重要度が高いことは？

# まちづくりで満足していること、重要なこと



資料:まちづくり市民満足度調査 平成26(2014)年度

## まちづくりで満足していること、重要だと思うこと

満足度と重要度の関連を散布図に表してみると、『I．重点取組エリア（満足度が低く、重要度が高い項目群：重点的な取組が求められている）』には「**公共交通機関の利便性**」「歩道の整備」「交通安全対策（信号、標識、街灯など）」「防犯対策」「河川、森林の整備（治水、治山）」「消費者保護」「若者の定住」が含まれています。

# 公共交通の充実

## 公共交通の充実 現状と課題

- ・本市で運行している三岐鉄道三岐線及び北勢線は、両線とも安全・安定運行のための施設整備への投資や沿線市町の補助が必要となっており、北勢線は運行費についても沿線市町の支援が必要となっています。
- ・交通困難者の買い物、通院などの交通手段としても福祉バスが活用されており、今後も安定した運行が必要となっています。

# 基本事業1 鉄道交通の整備

## 事業内容

- 三岐鉄道との連携強化を図り、三岐鉄道北勢線の利用者数の増加に向けて、多様な広報やイベントなどを開催します。また、駅駐車場を活用したパークアンドライドの効果により、乗客数の増加を推進します。

## 主な事業名

- 三岐鉄道支援事業
- 駐輪場・駐車場管理事業

## 成果指標

### 北勢線利用者数(各年延べ)

単位:人

実績 (年度) / R2は目標値				目標値 (年度)				
H 29	H 30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
2,558,830	2,571,828	2,551,724	2,565,000	2,566,000	2,567,000	2,568,000	2,568,000	2,569,000

## 「鉄道交通の整備」事業計画に対するコメント

- ・この事業内容からは、「従来通り三岐鉄道に対する補助を継続する」とともに、「駅前に設置している駐輪場、駐車場の事業も継続します」と言っているだけとしか読み取れません。
- ・どのような「鉄道交通の整備」の施策をするつもりなのでしょうか。
- ・従来通りの施策の延長だけで想定どおり利用者は増えますか。
- ・成果指標は北勢線全体の利用者数となっていますが、いなべ市の施策の評価ができますか。

## 地域の「鉄道交通」の将来像を自ら描いてみよう

- ・地域の鉄道は支援が必要条件であるとして、公的資金を投入するのであれば、そのお金を使って鉄道を改善するべき方向性についてもっと口出ししても良いと考えます。
- ・独立採算事業として事業者が自前の資金だけで運営していた時と同じように、全面的に事業者任せでは地域が望む鉄道は実現できません。
- ・この機会に地域の鉄道のあり方を自ら考えて、理想の姿を描いてみませんか。

## 基本事業2 バス交通の整備

### 事業内容

●地域住民の身近な交通手段として、福祉バスの効率的で利便性及び安全性の高い運行を推進します。また、交通空白地への対策を進めます。

### 主な事業名

●福祉バス運行事業

### 成果指標

#### 福祉バス利用者数(毎年延べ)

単位:人

実績 (年度) / R2は目標値				目標値 (年度)				
H 29	H 30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
104,394	102,932	94,223	103,000	103,150	103,300	103,450	103,600	103,750

## 「バス交通の整備」事業計画に対するコメント

- ・効率的で利便性安全性の高い運行とはどのような運行でしょうか。  
そのために具体的にどんな施策を実施するのでしょうか。
- ・交通空白地への対策は具体的に何をするつもりなのでしょうか。
- ・交通空白地対策を含めて福祉バスの運行のあり方の見直しをするのならどんな観点で見直すのでしょうか。
- ・利用者を増加させるための実施する施策は何でしょう。
- ・利用者数が少しずつ増えれば事業としては良いのでしょうか。

## 地域の「バス交通」をブラッシュアップしていこう

- ・今のいなべ市の福祉バスは、住民が望んでいるサービスを満足のいくレベルで提供できていますか。
- ・福祉バスは市内を網羅的にバスを運行していますが、路線、区間によって利用率も大きく違うと思われます。細かい利用率を公表して、より効率的な運行に向けた改善はできませんか。
- ・鉄道や事業者の路線バスとの接続改善など、ダイヤ面でも改善の余地があるのではないか。

快適な道路網の充実

## 快適な道路網の充実 現状と課題

- ・国道306号の滋賀県方面との広域道路ネットワークの整備や、県道・市道の未改良箇所の順次改良、幹線道路を軸とした市域の一体的な道路網の形成、冬期の除雪・融雪体制の充実などが必要です。
- ・道路の多様な機能を十分に発揮させ、子どもや高齢者をはじめとする全ての人にとって安全で、環境や防災に配慮した整備や、広域的な整備、まちづくりとの一体的な整備など、**多方面からの道路整備**が求められています。

## 快適な道路網の充実 現状と課題

- ・市道に架かる橋梁等の老朽化により、修繕・架け替え等にかかる費用の増加が懸念されるため、定期点検の実施や計画的な橋梁の維持管理を通じた、橋梁の寿命の延伸が必要となっています。
- ・東海環状自動車道の機能を十分に發揮できるよう、市内道路網整備の充実が必要です。また、アクセス道の整備をはじめ、周辺地域の生活環境への配慮や環境保全対策等についての国や県への要請が必要です。

# 基本事業1 生活道路網の整備

## 事業内容

●国道306号新鞍掛トンネルの整備や国道365号・国道421号バイパスの早期完成を促進します。また、主要地方道・県道では、北勢多度線をはじめ、近隣市町、工業団地などを結ぶ道路網の整備を促進し、市内幹線道路の充実を図ります。

●集落間や公共施設間を結ぶため、自治会や地権者の協力を得て生活道路や橋梁の整備を図ります。また、市道に架かる橋梁、トンネル、歩道橋等の定期点検や長寿命化のための修繕工事を行い、適正に維持管理します。さらに、歩行者や自転車の安全のため、歩道等の整備を進めます。

## 主な事業名

- 社会基盤施設整備促進事業
- 簡易パーキング管理事業
- 県単道路改良事業
- 社会資本整備総合交付金事業
- 道路台帳整備事業
- 防災・安全交付金事業
- 道路メンテナンス事業
- 道路橋梁維持補修事業
- 市単独道路改良事業

## 成果指標

### 市道の改良延長(累計)

単位:km

実績 (年度) / R2は目標値				目標値 (年度)				
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
530	530	530	535	536	537	538	539	540

↗ 総合戦略2-2-1 KPIはR6年度

### 歩道の設置延長(累計)

単位:km

実績 (年度) / R2は目標値				目標値 (年度)				
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
66	67	68	70	71	72	73	74	75

## 「生活道路網の整備」事業計画に対するコメント

- ・生活道路の整備は対象があまりにもひろく、何に重点を実施したいのか見えてきません。
- ・5年間の短期の計画では総花的な記述ではなく、この期間に実施たい重点実施事項を示した方が良いのではないでしょうか。
- ・市道の改良延長や歩道の設置延長で成果を評価できますか。

## 基本事業2 高速交通網の整備促進

事業內容

- 東海環状自動車道の残り区間が早期に開通されるよう、県内外の市町村と連携しながら、国・県等の関係機関に早期の全線開通に向けた働きかけを行います。

成果指標

### 市内の高速道路設置延長(累計)

单位：km

## 主な事業名

- 高速道路整備促進事業

# 秩序ある土地利用の推進

## 秩序ある土地利用の推進 現状と課題

- ・本市には桑名都市計画区域といなべ都市計画区域、いなべ準都市計画区域、都市計画区域外という**4種類の区域**が存在しています。
- ・桑名都市計画区域以外の都市計画区域については**統合する必要**があります。また高速道路の開通にともない開発圧力の高まりが想定されるため、適切な土地利用を誘導すべき地域には**新しい用途地域の指定を検討する必要**があります。

# 基本事業1 計画的な土地利用の推進

## 事業内容

- 用途地域の指定により、適切な土地利用の規制・誘導を行います。

## 主な事業名

- 都市計画審議会事業
- 都市計画推進事務

## 成果指標

### 用途地域面積(累計)

単位:ha

実績 (年度) /R2は目標値				目標値 (年度)				
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
402	402	473	473	473	473	473	473	500

にぎわいのある商工業の振興

## にぎわいのある商工業の振興 現状と課題

- ・阿下喜周辺の商店街が中心街としての役割を担えるよう、空き店舗対策等を通じた活性化の取組が必要です。
- ・商業では集客力の向上や観光面の力を向上させていく必要があります。
- ・いなべ市の豊かな自然と、風土を活かした地域産業の創出と販路開拓を総合的に支援していく必要があります。

# 基本事業2 中心市街地の活性化

事業内容

- 阿下喜地区の歴史ある街並みの整備等により、空き店舗の活用や飲食店及び物販店の誘致を進め、中心市街地の活性化を図ります。

## 主な事業名

- 中心市街地活性化事業

成果指標

## 阿下喜地区の空き店舗活用等による出店件数(各年)

单 位：件

# 魅力ある観光地づくりの推進

## 魅力ある観光地づくりの推進 現状と課題

・近年、農業公園や阿下喜温泉における観光交流人口が減少する一方で、ツアーオブ・ジャパン等の新しい取組による交流人口の増加もみられます。今後も、**地域資源を活かして、市内外の多様な人々が活発に活動し交流できる機会づくり**に取り組む必要があります。

## 魅力ある観光地づくりの推進 現状と課題

本市では、サイクルツーリズムによる自転車を活かしたまちづくりを推進しています。近年ではツアーオブ・ジャパンを開催するなど、整備された幹線道路や豊かな自然景観のもとでサイクリングを楽しむ人が増加しています。今後もいなべの魅力をPRするコースの設定や店舗及び看板の整備、サイクリストと地元住民との交流の促進等に取り組む必要があります。

# 基本事業1 多様な観光施設の充実

## 事業内容

- 市内外からの集客を図るため、農業公園や阿下喜温泉、青川峡キャンピングパークなど、市の観光施設の維持管理を行います。

## 主な事業名

- 阿下喜温泉施設指定管理事業
- 阿下喜温泉施設管理事業
- 農業公園指定管理事業
- 観光客受入施設管理事業
- 観光施設整備事業

### 成果指標

#### 農業公園の集客数(各年延べ)

単位:人

実績(年度) / R2は目標値				目標値(年度)				
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
101,646	104,642	68,163	106,000	107,000	108,000	109,000	110,000	111,000

#### 阿下喜温泉の集客数(各年延べ)

単位:人

実績(年度) / R2は目標値				目標値(年度)				
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
127,105	122,718	126,783	128,000	128,400	128,800	129,200	129,600	130,000

# 基本事業2 イメージアップと集客力の向上

## 事業内容

- 自転車を活かしたサイクルツーリズムによるまちづくりを進め、ツアーオブジャパンの定着や集客の向上に取り組むとともに、市内主要施設の効果的な活用を図り、森林や里山など、いなべの自然に価値を見出し、誘客を図ります。
- 本市の観光を支える団体や個人の活動の活性化に向けた支援及び補助を行います。
- 新たな観光メニューの開発等に取り組みます。

## 主な事業名

- ツアーオブジャパン開催事業
- 観光組織推進事業
- 観光資源開発発信事業

## 成果指標

### ツアーオブジャパン観客動員数(各年)

単位:人

実績(年度) / R2は目標値				目標値(年度)				
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
22,000	23,000	20,000	23,500	24,000	24,500	25,000	25,500	26,000

総合計画を踏まえて  
今日の議論の論点を整理

## 現行の総合計画の先にあるいなべの将来像とは？

- ・総合計画を見ると将来の方向性は少しほとんど示されてはいるものの、これだけでは将来の姿がなかなか見えてきません。
- ・この方向性の到達点として、いなべ市の将来像を具体的に描くとどうなりますか。
- ・そんな将来を担う地域の交通はどのようにする必要がありますか。

ディスカッションのテーマ・・1  
あなたが描く2030年の  
いなべ市の姿とは

ディスカッションのテーマ・2  
2030年阿下喜のまち未来像

ディスカッションのテーマ・3  
2030年地域を支える交通